

# ことバブル mini

人数：2～8人/時間：15分/年齢：10歳以上

ことバブルはカードを使った連想ワードゲームです。2つの遊び方が用意されています。

開発：ボドランカ(bodlanca-games.com)

製造：あんちっく(antic-main.com)

## ■内容物

- ・シンボルカード 43枚
- ・ENDカード 1枚
- ・ルールブック 1枚

## ■遊び方1<スリーシンボルズ>

### ●概要

複数の言葉のうち任意の3個の言葉から連想される単語をいち早く宣言し得点を競います。

### ●準備



- ・ENDカードを抜きだします。
- ・他のカードをよくシャッフルし場の中央に裏向きに置き山札とします。
- ・山札の真ん中ぐらいに裏向きでENDカードを挿入します。

- ・ENDカードはゲーム終了のトリガーです。山札の上部に入れるほど短時間のゲームに調整できます。
- ・山札の上のカードから5枚を場に表向きに並べ「スタート」の掛け声でゲームを開始します。

### 【例】ゲームのセットアップ



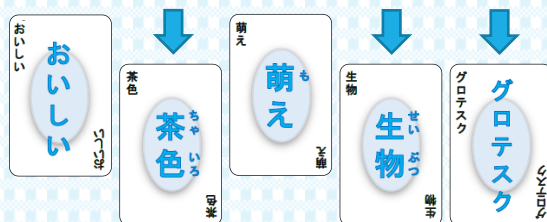
### ●宣言

- ・ゲームはリアルタイムに進行します。
- ・各プレイヤーは場の言葉のうち任意の3個の言葉を組み合わせて連想される単語を一斉に考えます。
- ・一番初めに単語を思いついたプレイヤーは使用するカードの位置をずらして思いついた単語を宣言します。このとき必要だと思うならば、

なぜその単語を連想したのかの理由を説明してもかまいません。

・使用できる単語については、後述する<単語のルール>を参照してください。

### 【例】単語の宣言



例：『茶色』『生物』『グロテスク』の3枚のカードを下にずらして「ゴキブリ！」と宣言しました。

### ●審議

・宣言された単語にどうしても納得がいかないプレイヤーは「審議」を提案できます。

・『審議』が提案されたら、単語を宣言したプレイヤーを除く全員で腕を突き出し、以下(A),(B)のいずれかのサインを一斉に出します。

(A) 異議なし：親指を上にあげる 👍

(B) 異議あり：親指を下に下げる 👎

・客観的に考えて納得がいくと思うなら異議なし、納得がいかないと思うなら異議ありとします。

・過半数のプレイヤーが異議なしならば、カードを得点化できます。

・過半数のプレイヤーが異議ありならば得点化できません。カードを元の位置に戻し、もう一度全員で新しい単語を考えます。

・あまりに厳密に考えると窮屈なゲームになります。ある程度自由な発想を許容しましょう。

### ●カードを増やす

・誰も宣言できそうにない場合、山札の一番上のカードをめくり、場のカードを増やします。つまり5枚以上のカードが場に出ることがあります。

### ●獲得と補充

・単語を宣言した後、誰からも審議を提案されない、あるいは審議の結果異議なしと判定された場合、単語を宣言したプレイヤーは使用したカード3枚を得点として獲得します。

・使用したカードをすべて、自分の前に裏向きで山にします。

・ゲーム終了時、獲得したカードは1枚につき1点の価値を持ちます。

・カード獲得後、場のカードが5枚より少なくなったら、新たに場のカードが5枚になるように補充します。

### ●ゲームの終了

- ・カード補充時に[END カード]が出現したらゲームが終了に近づく合図です。
- ・[END カード]を脇に避けカードの補充を行います。その後、いずれかのプレイヤーが得点したらそこでゲーム終了です。
- ・最も得点の高いプレイヤーが勝者です。該当者が複数いる場合、勝利を分かち合います。

### ●上級者向けバリエーションルール

上級ルールではカードを増やす代わりに、場のカードに重ねるように新たなカードを置きます。つまり表向きで見えるカードは常に5枚になります。カードを重ねる順番は山札から近い順に1枚ずつ更新します。重なったカードを獲得するときはそのカードも含めて得点となります。

## ■遊び方2<ゴーアウト>

### ●概要

手札と場札を組み合わせて連想される単語を宣言し、手札を無くすことを目指します。

### ●準備

- ・END カードは本ゲームでは使用しません。脇に避けておきます。
- ・各プレイヤーに手札を5枚ずつ配ります。
- ・残ったカードを裏向きの山札として置きます。
- ・適当なプレイヤーが、山札の一番上のカードを表向きで場に出したらゲーム開始。
- ・このカードが最初の場札になります。

### ●プレイ

- ・ゲームはリアルタイムに進行します。
- ・各プレイヤーは場札1枚と手札1枚を組み合わせ、連想できる単語を一斉に考えます。
- ・単語を思いついたプレイヤーはその単語を宣言しながら、手札を場に投げ入れます。
- ・投げ入れられた一番上のカードが場札になります。
- ・使用できる単語については後述する<単語のルール>を参照してください。

例:場札は『熱い』でした。手札から『赤色』のカードを取り「太陽」と宣言し場に投げ入れました。

以降は『赤色』と手札で連想できる単語を考えます。

### ●リセット

- ・どうしても単語が思いつかないとき、各プレイヤーはいつでも『リセット』できます。
- ・手札からいらぬカード1枚を捨て、場札を更新します。その後、山札から2枚引き手札にします。
- ・山札が枯れてしまった場合、場札の一番上のカードだけ残し、山札を作り直します。

### ●審議

- ・宣言された単語に納得がいけないプレイヤーは『審議』を提案できます。
- ・<遊び方1>の審議と同じように、サインで審議を決めます。異議ありが過半数となった場合、使用されたカードを手札に戻します。

### ●ゲームの終了

一番早く手札を使い切ったプレイヤーの勝利です。その時点でゲームは終了します。

### ●上級者向けバリエーションルール

上級ルールでは手札1枚と直前に宣言された単語で連想できる単語を考えます。ゲーム開始時やリセット時は通常ルールと同様に場札と手札で連想します。

#### 【例】単語の宣言

例:直前に『赤色』のカードが「太陽」と宣言され投げ入れられました。以降は『太陽』と手札で連想できる単語を考えます。『電気』のカードを「太陽光発電」と宣言し投げ入れました。

## ■単語のルール

- ・このゲームで使用できる言葉は「りんご」「どんぐり」など名詞で1単語に限ります。
- ・「緑色の車」のように助詞を使った言葉や文章は認められません。
- ・固有名詞の場合「織田信長」「ドイツ」などよく知られている言葉は使って構いません。
- ・常用されないマニアックな言葉をOKとするかどうかはプレイヤーのレベルに応じて決めてください。
- ・「アナと雪の女王」など固有名詞の中で助詞が使われている場合はOKです。

ゲームデザイン、アートワーク:HIRO

ホームページ:<http://bodlanca-games.com/>

ツイッター:@bodlanca

